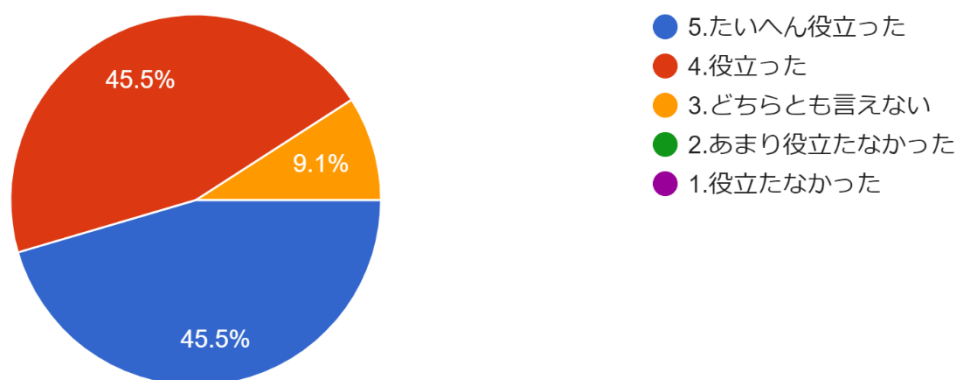


藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成講座
実践講座 1:地域資料活用によるキュレーション講座
全3回(2022/12/10, 12/17, 2023/01/14)
アンケート結果(11名の回答)

▼第1日(12/10)の講座は役に立ちましたか？



▼第1日(12/10)の評価理由

- ◆藤本蚕業の資料から、二二六事件への興味につながるなど、キュレーションの実例を得て、考えるヒントになったと思います。
- ◆自館の郷土資料をデジタル化できそうな前向きな考えになりました。
- ◆オンラインで見学をさせていただいたのも面白かったです。
- ◆デジタルアーカイブ構築に対する前川先生のお考え(何を残すべきか)や受講生の皆さんの取り組みを伺って、大変勉強になりました。また現地に行くのと近い感覚で歴史館周辺や内部を見学でき、蚕業の作業工程、蚕の生態等が純粋に興味深かったです。
- ◆午前中の藤本蚕業歴史館訪問は、蚕業に関心なかったにもかかわらず、また、実際に訪問したわけではなくオンラインだったにもかかわらず、ある程度興味をもって全体の概要を知ることができた。午後の講座では、参加者の問題意識を知ることができ、参考になった。
- ◆別に聴力にも機械にも問題はないのに、音量を最大にしても聞き取りにくい。
- ◆江戸末期から明治にかけての家内工業やプロト工業についてのわずかな知識が、急に実感を帯びました。蚕糸業の行程を知り、NDC分類63が設けられている訳が分かりました。
- ◆実際に狭い範囲での地域資料アーカイブの実践例とキュレーションについて学べて非常に面白かったです

◆キュレーションについてほとんど知識がなかったため、非常に新鮮な講座でした。d-commons.net の存在と内容について知ることができたのも大きかったと思います。

◆私も含めて様々な分野に関心のある方々が参加されていて、とても緊張しました。デジタルアーキビストの資格を一昨年に取得しましたが、学び直しやスキルアップを目的として、受講しました。